

平成 30 年度

北広島市地球温暖化に関する 市民意識調査 報告書 **概要版**

北広島市では、効果的な温暖化対策の検討に向けた基礎知見とするため、北海道環境財団及び北海道との連携のもと、市民の皆様の地球温暖化対策に関する意識や取組の状況をお尋ねするアンケート調査を実施しました。

このパンフレットでは調査結果の一部をご紹介します。

調査概要

- 1) 実施体制 調査主体:北広島市、公益財団法人北海道環境財団
協 力:北海道
- 2) 調査期間 平成30年11月~12月
- 3) 調査対象 北広島市民 1,000人(住民基本台帳より18歳以上を無作為抽出)
- 4) 回答数 451人
- 5) 調査内容
 - 1 回答者の属性(年代、世帯人数等)
 - 2 地球温暖化に関する認識
 - 3 省エネルギー行動実施状況
 - 4 再生可能エネルギー等設備導入状況
 - 5 暮らしの質や地域の豊かさと温暖化対策



本資料は調査結果を概要版としてまとめたものです。

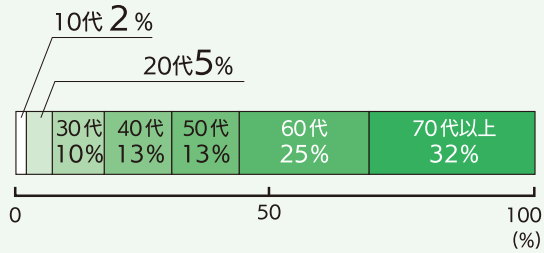
全ての結果は次のURL又はQRコード(北海道環境財団HP)からご覧ください。

<http://www.heco-spc.or.jp/coolchoice/kitahiroshimasurvey.html>

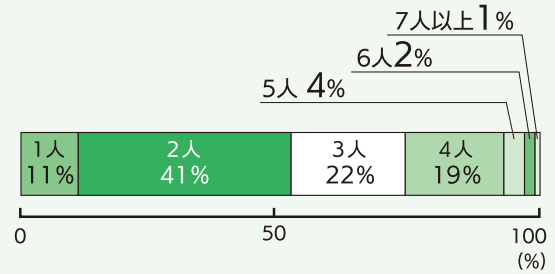


1 回答者の基本情報

① 年代



② 世帯人数 (回答者数 451 人)

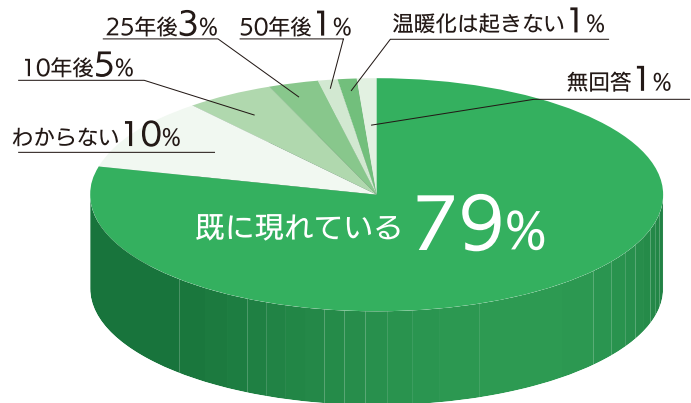


2 地球温暖化に関する認識

① 地球温暖化の実感度



あなたは、北海道で温暖化の影響が現れるのはどれくらい先だと思いますか？



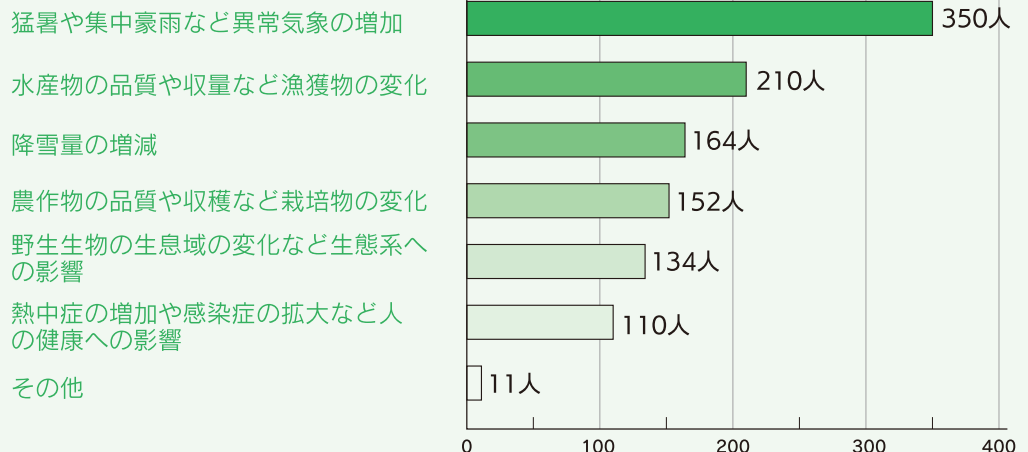
■ 類似調査との比較

全 国

既に実感している **77%**

日本人の環境意識に関する世論調査(平成28年度、国立環境研究所)

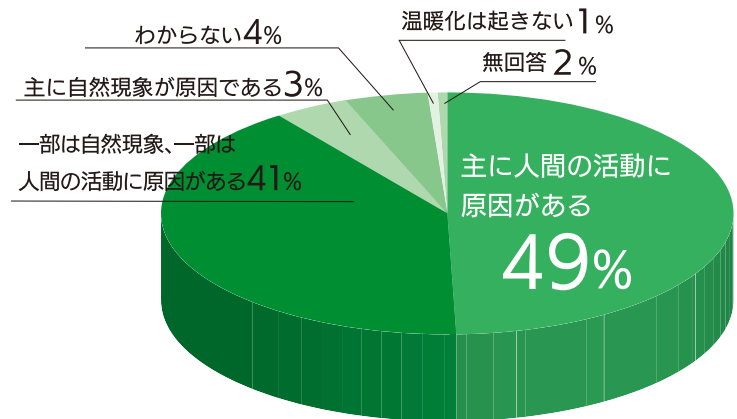
▶ 既に現れているを選んだ理由 ※「既に現れている」を選んだ方のみ (回答者数358人、複数選択)



② 温暖化の原因



温暖化の原因を考えたとき、あなたの考えに最も近いものはどれでしょうか？



■類似調査との比較

全 国

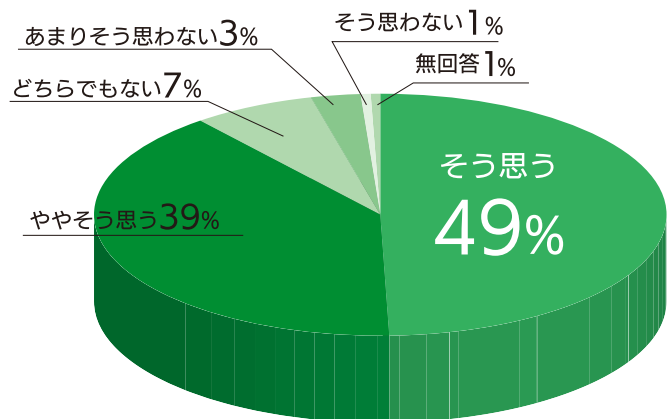
おおかたは人間活動に原因 **37%**
一部は自然現象、一部は人間の活動に原因 **41%**

日本人の環境意識に関する世論調査(平成28年度、国立環境研究所)

③ 温暖化防止のために暮らしを変革する必要性



あなたは、温暖化の進行を食い止めるために、自身の暮らしや習慣を変えていかなければならないと思いますか？



■類似調査との比較

全 国

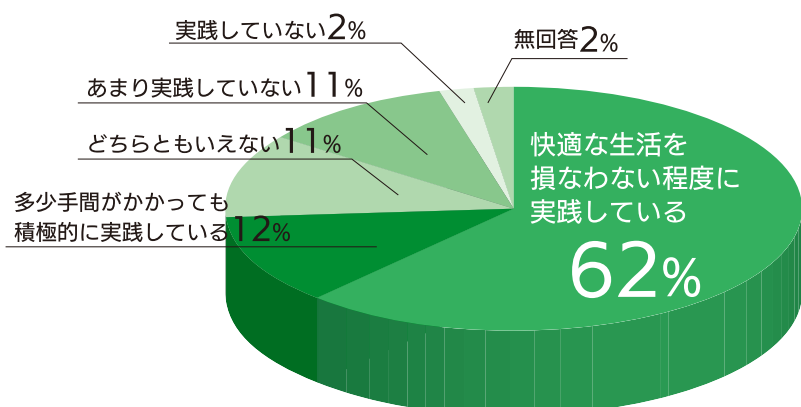
「そう思う」+「ややそう思う」 **73%**

日本人の環境意識に関する世論調査(平成28年度、国立環境研究所)

④ 温暖化防止に繋がる取り組みの実践度



あなたは、暮らしの中で、省エネなど温暖化対策につながる取組みを、どの程度実践していますか？



3 省エネルギー行動実施状況



以下の行動内容について、**あなたの実施状況**に最も近いものを選んでください。
実施していないと回答した場合、実施していない理由を選んでください。

実施していない理由の選択肢

やりかたが分からない

効果が分からない

手間がかかる

経費がかかる

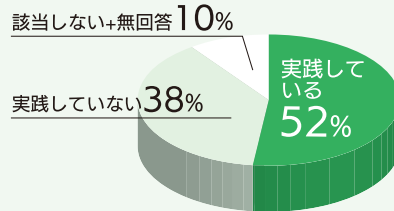
知らなかった

生活や習慣を変えるのが難しい



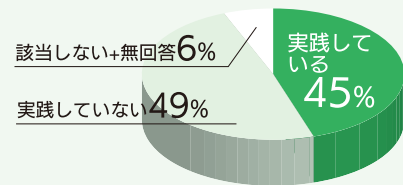
テレビ

■画面の明るさを抑えている



実践していない理由の最も多い回答
やりかたが分からない 26%

■使用しないときは主電源をオフにしている

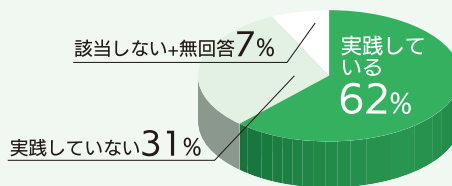


実践していない理由の最も多い回答
手間がかかる 41%



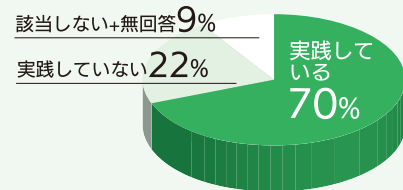
冷蔵庫

■温度設定を夏は“中”以下、他の季節は“弱”にしている



実践していない理由の最も多い回答
生活や習慣を変えるのが難しい 21%

■物をつめこみすぎないようにしている

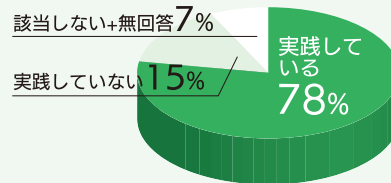


実践していない理由の最も多い回答
生活や習慣を変えるのが難しい 45%



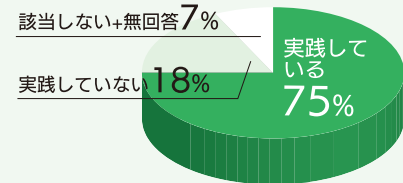
照明

■状況に応じて明るさを調整している（減灯・自動調光を含む）



実践していない理由の最も多い回答
生活や習慣を変えるのが難しい 24%

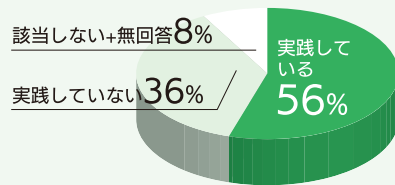
■白熱電球から高効率照明（LED）に交換している



実践していない理由の最も多い回答
経費がかかる 59%

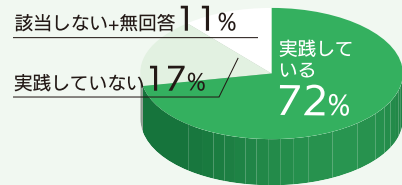
 暖房

■暖房による室温設定は 20 度を
目安にしている



実践していない理由の最も多い回答
生活や習慣を変えるのが難しい 59%

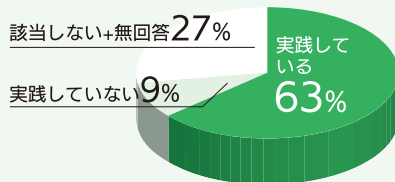
■運転時間の短縮を心がけている



実践していない理由の最も多い回答
生活や習慣を変えるのが難しい 58%

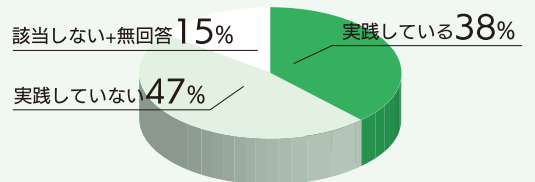
 移動

■自動車をゆっくり加速させる等
燃費の良い運転を心がけている



実践していない理由の最も多い回答
生活や習慣を変えるのが難しい 38%

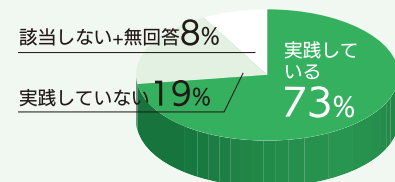
■車は控えて、徒歩や自転車、公共交通
機関をなるべく利用している



実践していない理由の最も多い回答
生活や習慣を変えるのが難しい 51%

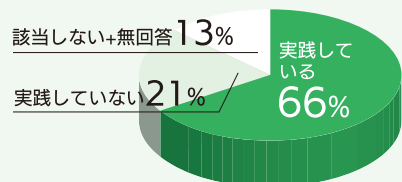
 商品選択

■地元の食材をなるべく購入する
ようにしている



実践していない理由の最も多い回答
経費がかかる 20%

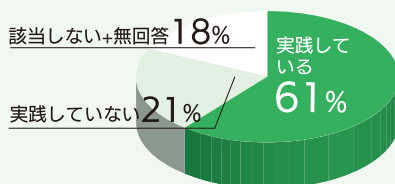
■省エネ性能が高い家電など、環境負荷
の小さい商品を購入している



実践していない理由の最も多い回答
経費がかかる 37%

 その他

■宅配はできるだけ 1 回で受け取っている

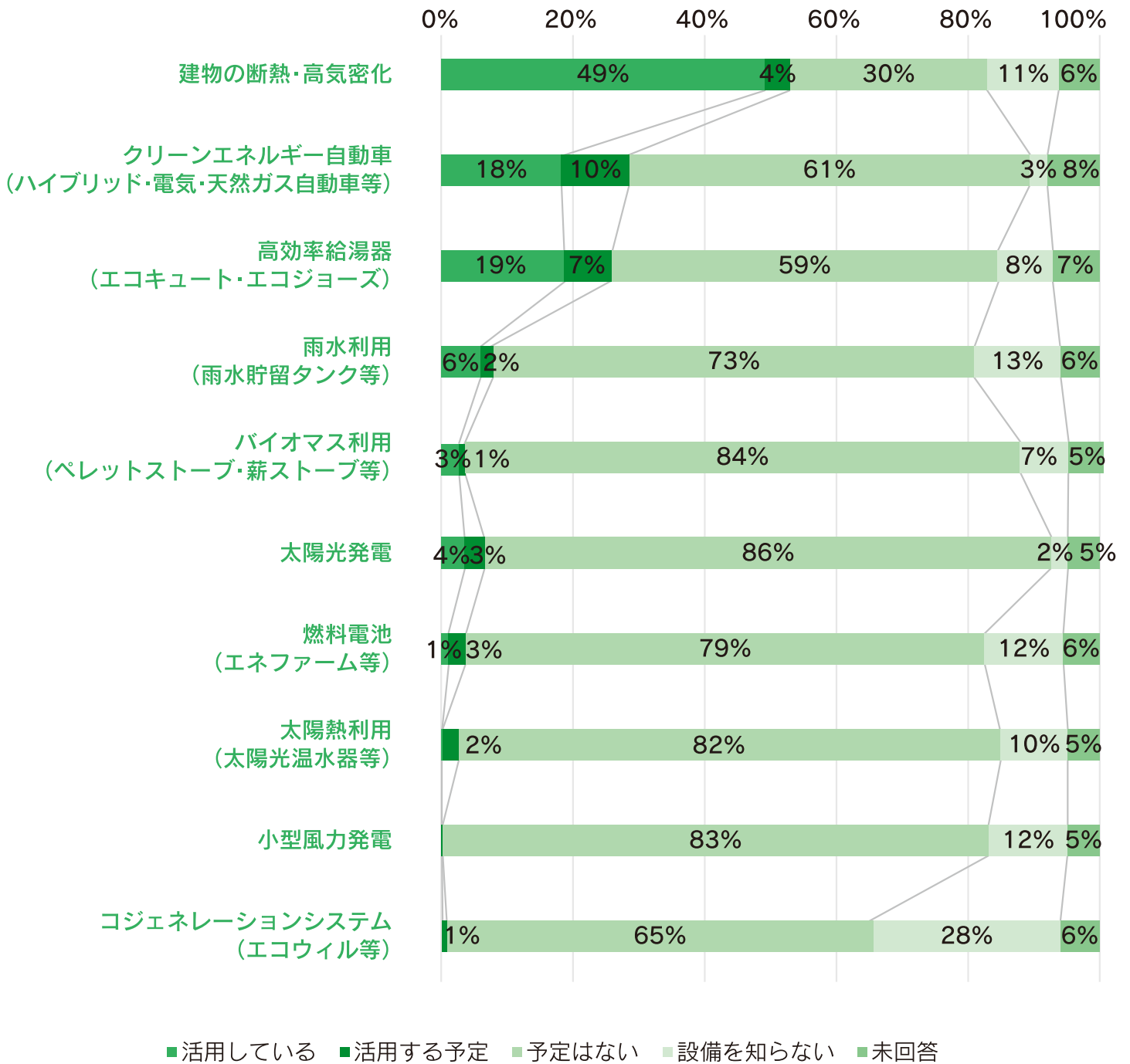


実践していない理由の最も多い回答
生活や習慣を変えるのが難しい 33%

4 再生可能エネルギー等設備導入状況



以下の再生可能エネルギーや省エネルギー設備に関して、ご家庭で実際に活用しているもの、または活用する予定のものはありますか？

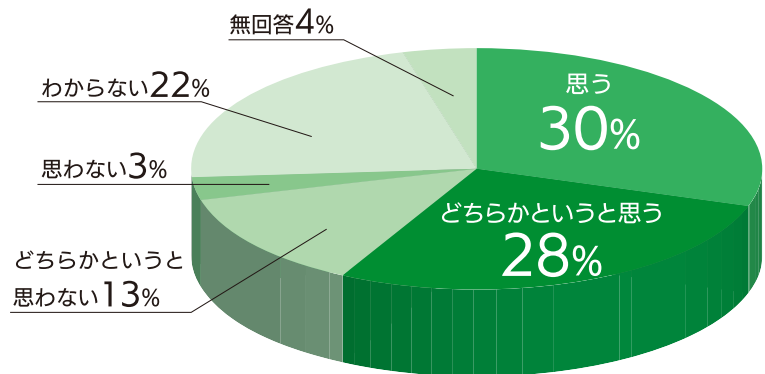


5 暮らしの質や地域の豊かさと温暖化対策

① 暮らしの質の向上と温暖化対策

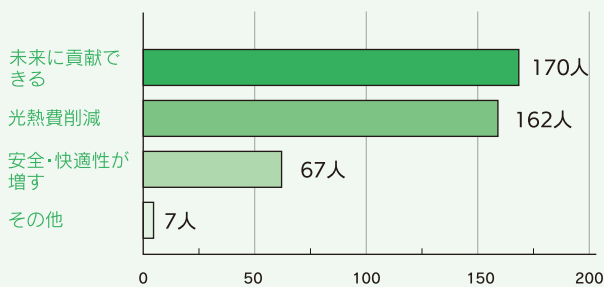
問

省エネ行動の実践や再エネ・省エネ設備導入などの温暖化対策は、**あなたの暮らしの質の向上**につながるとお考えですか？



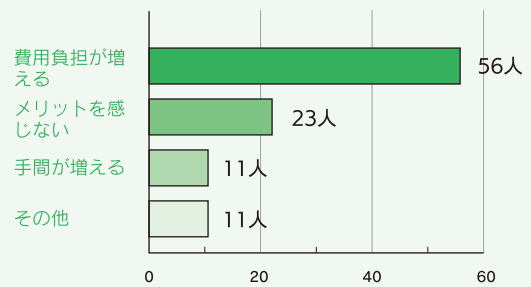
▶ 暮らしの質の向上に繋がると考えた理由

※「思う」「どちらかというと思う」を選択した方のみ
(回答者数 261 人, 複数選択)



▶ 暮らしの質の向上に繋がらないと考えた理由

※「どちらかというと思わない」「思わない」を選択した方のみ
(回答者数 71 人, 複数選択)



■ 類似調査との比較 2015年世界市民会議「気候変動とエネルギー」

問

あなたにとって、気候変動対策はどのようなものですか？

生活の質を高める

生活の質を脅かす

世界全体

66%

27%

日本

17%

60%

■ 世界市民会議とは？

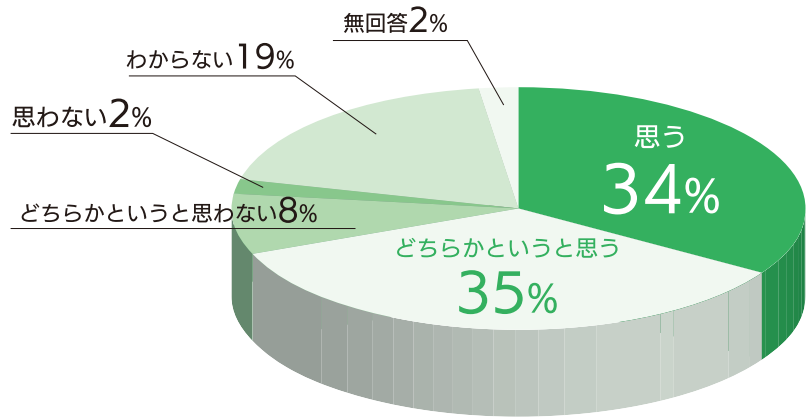
地球規模の課題を扱う国際交渉に世界中の市民の意見を届けるために開催されたプロジェクトです。2015年の会議は世界96カ所の同日開催により行われました。気候変動とエネルギーについて、世界各地でそれぞれ100人の参加者（専門家でない市民）が議論し、世界共通の設問に対して個人の意見を投票しました。

[出典及び参考] 世界市民会議「気候変動とエネルギー」開催報告書
(平成 27 年度, 科学技術振興機構)

② 地域の豊かさと温暖化対策

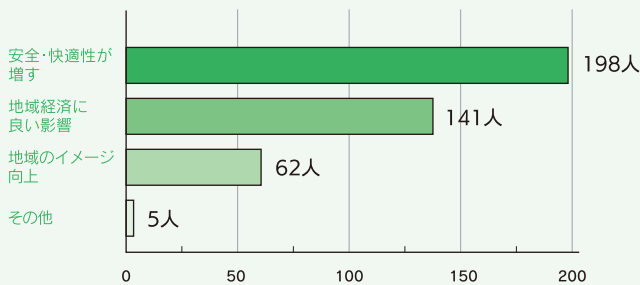


省エネ行動や再生可能エネルギー設備導入などの温暖化対策を進めることは、**地域の豊かさの向上**につながるとお考えですか？



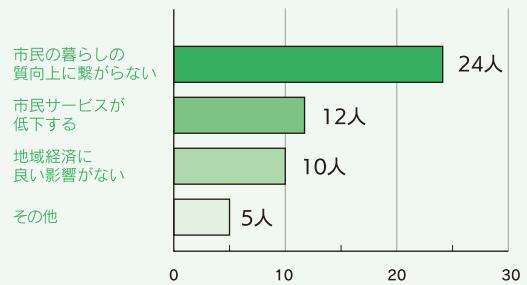
▶ 地域の豊かさの向上に繋がると考えた理由

※「思う」「どちらかというと思う」を選択した方のみ
(回答者数 310人、複数選択)



▶ 地域の豊かさの向上に繋がらないと考えた理由

※「どちらかというと思わない」「思わない」を選択した方のみ
(回答者数 47人、複数選択)



発行
制作協力
お問い合わせ先

北広島市、(公財)北海道環境財団
北海道
(公財)北海道環境財団
〒060-0004
札幌市中央区北4条西4丁目1番地 伊藤・加藤ビル4階
TEL 011-218-7811



※ 震災復興型カーボンオフセット用紙を使用することにより、CO₂排出削減活動並びに東日本大震災復興を応援しています。また、環境にやさしい植物インキで印刷しました。